



農産物信頼システムのもう一つの顔

2003年から管内の果樹生産者に記入のお願いをしている農産物信頼システム。この冊子を記入して頂くことにより、JA相馬村から出荷する果樹に生産履歴を残すことができる。安心・安全の証明はもちろんの事、万が一の事柄に素早く対応する為の資料となっている。

現在、当JAからのお願いとして生産者の方々に毎年記入してもらっているが、この農産物信頼システムの記入の仕方によりトレーサビリティ以外にも重要な働きがあることを是非知って頂きたい。

実際に先月配布された2021年度農産物信頼システムの冊子をお手元に置きながら読んで頂けたら幸いです。

農産物信頼システムの活用

～経営状況の把握へ繋げる～



①農薬・肥料の在庫管理表

冊子の表紙をめくって進んで頂くと、「農薬・肥料の在庫表」というページがある。ここで前年の余った農薬等を把握しておくことの重要性を説明したい。

左の写真①は、とある生産者の農薬や肥料を保管している倉庫の一部である。写真①で囲んだ部分は去年使わずに余った農薬である。この程度の量であるが、金額として換算すると159,555円という金額となる。

この余った農薬を期間内に返品



費節減へ繋がる。また、来年も使用するので保管しておくというのであれば、記帳をしておくことで農薬や肥料の予約注文の際には、余分な在庫を持たなくてもよくなる。どんぶり勘定は経費増大のほか、倉庫の空間占領、農産物への農薬飛散など様々な悪影響を及ぼす。在庫管理は所得向上へ直結する。

経営改善の第一歩として、在庫管理表を是非ご活用頂きたい。

※農薬の返品には期限がありますのでご注意ください。

2021年度 農産物 防除記録 農協提出用

地区 _____ 氏名 _____ 共防名 _____ 作物名 _____

SSタンク容量	散布面積
500・600・1000 (L)	町 反歩

※いづれかに□を付けてください。

共同防除(共防連加)の場合、薬剤名の記入を省略できる。(りんごのみ)

散布期間	散布杯数	薬剤名(倍率)
1月 ~ 月 日	杯 (杯)	

丸で囲んだ欄には一回当たりの総杯数又は総リットル数を記して下さい。

② 農産物防除記録の活用

防除記録は、散布期間、1回当たりの総杯数又は総リットル数、そして散布した薬剤名とその倍数を記入していただくことで、正しい倍数や使用量、収穫前日を厳守している事等を証明することが出来る。

また、散布した農薬を把握することは薬害や病害虫の発生原因と今後の対策を知る材料となる。

※今年産から、共防連に加入の方
も薬剤名以外の欄を記入し、提出して頂きます。

● 良い記入例

2021年度栽培日誌 農協提出用

りんご作業内容(旬別)

作業内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
(例)剪定	←→				開始(1月25日) 終了(3月20日)							
剪定	←→				開始(2月26日) 終了(4月3日)							
摘果・摘葉	品種(むつ) 開始(5月27日) 終了(5月27日)											
袋かけ	品種(あまがはら) 開始(6月5日) 終了(7月2日) / 品種(あまがはら) 開始(6月9日) 終了(6月25日) / その他(ふじ) 開始(6月27日) 終了(7月2日)											
除袋	むつ小袋(5/29~6/6) / 大袋(7/3~7/30)											
摘葉	むつ(8/5~8/11) / りんご(8/26~8/31) / その他(8/26~8/31)											
収穫・早生種	つばき(9/11~9/20)											
中生種	トキ 青林(9/27~9/28)											
晩生種	あまがはら(9/30~10/4) / ふじ(10/7~10/10)											
薬剤散布	←→											

施肥管理(土壌改良剤含む)

施肥月日	施肥内容(品目・数量)
(例)基肥 4月25日	飛馬印りんごペレット 564(150袋)
基肥 4月10日	りんご一番 12.5袋(上畑)
基肥 4月13日	飛馬印りんごペレット 514 12袋(下畑)
	まふまふコ角糞配合 3袋(下畑)
追肥 6月9日	わかみどり 3袋(上畑)
秋肥	
栽培面積	/町 /反歩(内、おい化 町 反歩)

住所 弘前市大字 字 _____ 氏名 _____

※この用紙は、12月に職員が回収に向います。

例) 基肥 りんご一番 上畑 12.5袋
リンゴペレット 下畑 12袋

上記の様に散布した肥料の名称とどこの園地にどのくらいの量を散布したのかを記入しておくことにより、土壌診断結果に基づき、施肥量の多少や過剰、欠乏の原因などを知る手掛かりとなる。

③ 栽培日誌の活用

栽培日誌は、剪定作業から収穫までの作業を行った日を記録する物である。最低限として作業した日を線で表してもらっているが、空白部分に各作業のかかった日数や作業のはじめや終わりを記入することで、「作業がいつもよりも遅れている」とか「その年の着果量が多かった」等の自分の畑の作業状況を昨年と比較していく事が出来る。

● 普通の記入例

2021年度栽培日誌 農協提出用

りんご作業内容(旬別)

作業内容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
(例)剪定	←→				開始(1月25日) 終了(3月20日)							
剪定	←→				開始(月 日) 終了(月 日)							
摘果・摘葉	品種() 開始(月 日) 終了(月 日) / 品種() 開始(月 日) 終了(月 日) / その他() 開始(月 日) 終了(月 日)											
袋かけ												
除袋												
摘葉												
収穫・早生種												
中生種												
晩生種												
薬剤散布												

施肥管理(土壌改良剤含む)

施肥月日	施肥内容(品目・数量)
(例)基肥 4月25日	飛馬印りんごペレット 564(150袋)
基肥 4月20日	りんご一番 553
追肥 5月20日	GPS100青糞 743ml
秋肥	
栽培面積	3町 反歩(内、おい化 町 反歩)

住所 弘前市大字 字 _____ 氏名 _____

※この用紙は、12月に職員が回収に向います。

④りんご生産量調査の活用

りんご生産量調査はこれまでアンケートとして記入をお願いしている。2021年度から様式を新しくした事による新たな活用法を説明したい。

これまでの調査用紙にはそれぞれのりんごの品種が記されているが、早生種・中生種・晩生種というように整理されていない為、直ぐに自分の品種構成を把握することは難しい。

新たな生産量調査用紙は早生種

や中生種などの様に収穫時期が分別されており、どの収穫時期にどのくらいの品種があるのかを把握することで、自分の作業状況や品種の割合を把握することが出来る。

よく春の苗木の注文の時期になると「苗木を植えたいが何の品種がお勧めなのか」などの問い合わせがある。このような問い合わせにも対応する為にこの用紙が重要な材料となる。

例えば、「早生品種を植えたい」

という問い合わせがあると、まず、先月号で紹介した推奨品種のひらかつがると考えるが、ただ進めるわけにもいかない。その為、組合員控えとして保存してある生産量調査用紙をお持ち頂きたい。

その用紙を見ながら、どの品種を伐採し早生種にするのか、それとも、早生種をただ追加するのか、作業や経営に対してネックになっている品種はないのかなど内容により、品種の進め方が変わる。そして品種構成を確認し、早生

種と晩生種が多いのであれば、中生種の栽培管理までは手が回り辛いと見え、いずれかの品種を伐採するなどの対策も考えて、品種を奨める。

また、記入する際にはより詳しく記録することが望ましく、1次や2次の入庫期間が設けられているものはそこまで記入していただく、より活用しやすくなる。アンケートではあるが是非自分の経営の為に記録して頂きたい。

農協提出用

2020年度りんご生産量調査用紙

地区 _____ りんご園結果樹面積 _____ 町 _____ 反歩 (内、わい化 _____ 町 _____ 反歩 _____)

項目	品種	サンつがる	きおう	郡林 早生ふじ	トキ	サンジョナ	有袋ジョナ	むつ	シナノスイート
		生産量	上実						
	小玉								
	くず実								
	小計								

項目	品種	有袋ふじ	サンふじ	王林	シナノゴールド	名月	その他	合計	加工
		生産量	上実						
	小玉								
	くず実								
	小計								

※上実とは、特大・大の合計です。
※小玉のない品種は上実に合算して下さい。
※くず実は、クズ・フレ・青・ピンコの合計です。
※上記以外の品種はその他に合算して記入下さい。
※小計、合計はあえて記入しなくてもよいです。

回収者印 _____

※この用紙は、12月に職員が回収に伺います。

2020年までの生産量調査用紙



農協提出用

2021年度 りんご生産量調査用紙

地区 _____ りんご園結果樹面積 _____ 町 _____ 反歩
(うちわい化) _____ 町 _____ 反歩 _____

(単位:箱)

		上実	くず実	加工	計
極早生・早生種	サンつがる				
	きおう				
	その他				
	計				
中生種	早生ふじ系				
	トキ				
	サンジョナ				
	有袋ジョナ				
	シナノスイート				
	その他				
	計				
晩生種	有袋ふじ				
	サンふじ				
	王林				
	シナノゴールド				
	名月				
	その他				
	計				
合計					

※上実とは、特大、上実、小玉の合計です。
※クズ実は、クズ、青、ピンコの合計です。
※記載にない品種は、早生、中生、晩生のその他の欄にそれぞれ合算してください。

○この用紙は自園地の品種構成が把握できるほか、品種更新を進める際の基礎資料にもなります。りんご経営の資料としてぜひお役立てください。

※この用紙は、12月に職員が回収に伺います。

新たなりんご生産量調査用紙

⑤ GAPのチェックリストの活用
冊子の一番最後に22項目ある基礎GAPのチェックリスト。自分の身や食品の安全を守る事等、これからも農業を続けていく為にこのチェックリストを自分や家族と活用して頂きたい。

以前にも述べているが、GAPとは特別な事をする訳ではなく、生産者が安全に継続的な農業を営む為に気を付けなければならぬ項目を活字にして表しているものである。「こんなことは実践して当然」と感じているのであれば問題は無いが、「こんなことは面倒だからやっつけていない」と感じているのであれば、それは農業を営む上で何らかの危険が潜んでいることになる。



GH評価制度を利用したGAP教育を行う生産者ら

最後に：

自分の経営の為に

この農産物信頼システムの記入は、JAに提出しなればいけないから記入しているというのが本音だと思いが、自分自身の経営や作業の状態を把握する為に記入するという意識で記録して頂きたい。

また、長年の勘を頼りに作業している生産者も多くいると思うが、記帳して残しておくことにより、事業継承の際の重要な役割として活用することが出来る。例えば怪我や病気等で作業を引き継いでもらわなければならない時、当冊子を見るだけで最低限の栽培が実施できる。

自分のりんご作業を振り返る為、これからの作業の改善点を見つめる為、そして事業継承まで見据えた経営を行う為、この農産物信頼システムを記入していただきたい。

これからも生産者の方々に記入しやすく、活用しやすい仕様にしていきたいと思っておりますのでご意見などもお待ちしております。

生産者に聞いてみた！

農産物信頼システムを経営の為に活用していますか？

《湯口地区 男性 54歳》

農作業記録簿は毎年見て振り返りに活用しています。

作業は毎日記録するようにしている為、農協提出用のものにはそれを見ながらまとめて記入しています。

農作業記録簿には作業の期間を線で記すため、直ぐに作業期間の長さを把握することが出来る。これからも自分で活用しやすいように具体的に記入していきたい。

《紙漕沢地区 男性 63歳》

基本的には昨年との作業状況の比較をするのに活用しています。作業のタイミングはどこかで崩れてしまうと次からの作業全部に影響してしまう事から作業の進行状況には注意している。

また、後継者と農作業は共にしているが、自分で注意している事等の具体的な事はこれから作業日誌などに記入して活用していきたいと思う。

○ 2020年度栽培日誌

農協提出用

※記入のしかた ← → で記入して下さい。
※各作業内容の空欄はメモ書きとして記入して下さい。
※尚ほ、果実類は主要品種の作業日を記入して下さい。

りんご作業内容(旬別)	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月					
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
(例)剪定	←												開始(1月25日)		→										終了(3月20日)			
剪定	←												開始(2月17日)		→										終了(2月24日)			
摘花・摘果	←												品種(ジョナ)開始(5月5日)		→										終了(6月12日)			
袋かけ	←												品種(ふじ)開始(5月9日)		→										終了(7月4日)			
除袋	←												品種(つがる)開始(5月10日)		→										その他()開始(5月12日)		終了(7月6日)	
摘果	←												ジョナ ふじ		←										→			
収穫・早生種	←												志保 未稀アヲ		←										つがる 早生			
中生種	←												トナ 早生		←										ふじ 早生			
晩生種	←												王林 シンゴウ		←										ふじ 早生			
薬剤散布	←																											
施肥管理(土壌改良剤含む)																												
施肥月日	4月25日																											
施肥内容(品目・数量)	飛馬印りんごベレット 564(150袋)																											
基肥	4/20 大粒カリウム 50袋 4/18 リンゴ肥 10袋																											
追肥	-																											
秋肥	-																											

湯口地区男性の2020年度作業記録簿